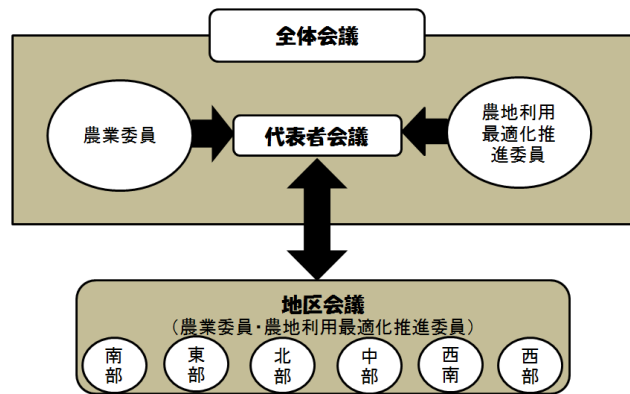


農地利用の最適化の推進に向けた取り組み

両委員一体化へ三つの会議設置（岩手県・北上市農業委員会）

- 農業委員と推進委員が一体となって農地利用の最適化を推進していくため、農業委員会に次の3つの会議を設置。
 - ① 農業委員・推進委員の全員が情報交換を行う全体会議
 - ② 農業委員の役員と推進委員の代表者が市全体としての活動を協議する代表者会議
 - ③ 市内を6地区に分け、農業委員と推進委員が地区ごとの課題や活動内容を協議する地区会議
- 農地の集積・集約化については、農業委員と推進委員が連携しながら農地中間管理事業を活用した出し手と受け手のマッチングを進めている。

委員と推進委員の連携体制イメージ図（当日資料より抜粋）



最適化委員会設置。全農家に意向調査（栃木県・栃木市農業委員会）

- 専門委員会の一つとして農地利用最適化委員会を設置し、合併前の市町村単位で担当農業委員を7人選出し、推進委員との連絡調整などの業務を行っている。
- 農地利用意向調査の取り組みについて、遊休農地やその恐れがある農地に限らず、推進委員が担当地区の農家全戸を対象に実施。

運営委員会と3つの専門委員会の概要（当日資料より抜粋）

農業委員会の円滑かつ適正な運営のために運営委員会を設置している。また、活発な活動を展開するため、3つの専門委員会を設けている。

ア 運営委員会

農業委員会全体の運営

- ・ 建議要望書提出
- ・ 農業者との意見交換会

イ 専門委員会

(ア) 農地利用最適化委員会

- ・ 栃木市の農地利用最適化を推進する

(イ) 農業委員会だより編集委員会

- ・ 農業委員会の活動を周知するための広報誌を発行
- ・ 6月、12月の年2回発行

(ウ) なでしこ委員会

女性農業委員で組織し、女性の視点を活かした農業振興

- 農業委員と推進委員がペアになって農地のあっせんや利用状況調査を実施。
- 国や市単独の予算を活用した耕作放棄地対策や関係機関と連携した新規就農支援対策についても「農業委員と推進委員が積極的に新規就農希望者と関わりをもち、この人なら地域を任すことができると思える人に優良な農地を確保できるよう支援している」。

```

graph TD
    A["系島市農地利用最適推進会議（５３人）  
（農業委員１９人＋推進委員３４人）"] --- B[農業委員会事務局]
    A --- C[幹事会：議案提案]
    A --- D[会 長：会議の議長]
    A --- E[副会長：会長を補佐、職務代理]
  
```

系島市農地利用最適推進会議（５３人）
（農業委員１９人＋推進委員３４人）

農業委員会事務局

幹事会：議案提案

会 長：会議の議長

副会長：会長を補佐、職務代理

- にいがた女性農業委員の会では、女性農業委員が68人、女性推進委員が5人、合計で73人になっていること、昨年度に会の規約を改正し、全国に先駆けて推進委員が会員になっている。
- 女性農業委員が得意とする食育や食農、婚活や地産地消、農産物加工や直売施設での活躍は、農地利用の最適化と決して無縁ではないと考えている。
- 新体制への移行が本格化する来年度は「一人でも多くの女性が登用していただけるよう、会としてもできる限りのことをしたい」。

にいがた女性農業委員会の組織概要

- 組織の設立 平成14年11月12日
- 規約第1条（目的）
この会は、女性農業委員ならびに女性農地利用最適化推進委員の連携を図る中で農業委員会活動の充実強化に資するとともに、農村女性の地位向上と地域農業の振興発展に資することを目的とする。（平成28年12月1日総会で改正）

